

地域活動支援センターHARUKURU

○活動目的

発達や知的に課題を抱えた子どもたちが自信をもって輝ける場所を提供すること
またそのご家族が、抱える不安や悩みを共有することで子供の成長を安心して見守ることができるようになること
ここでの活動を通して子供が喜びや手ごたえを感じられるようにすること

・メンバー

センター長の沖浦さん

現場で長年活躍されてきた支援員の花木先生

学生 3年生 4人

1年生 6人

○主な活動内容

・療育学習支援事業

学生ボランティアが主に関わっている事業

週に1回、学生が考えたヨガや謎解きゲームなどの
プログラムを実施

週に3回、子供が持ってきた宿題や課題などの補助を
行うなど、学習面でのサポートも同時に展開



ダンス活動



謎解きゲーム



紙芝居を読む

・障障継承プログラム

障害を持つ子供と障害を持つ大人をつなぐ活動

・セミナー開催事業

親子で工作をする活動

講師を招いてのセミナー開催

・保護者・異業種の交流の場

同じ悩みを持つ保護者の交流

職業の異なる方の交流

○活動成果

学校が異なる子どもたちであっても、共に活動し互いに良い刺激を得ることができている。ヨガや謎解きゲームなど、どうしたら子供たちが喜んでくれるかを考えながらより良いプログラムを模索し、それを実際に子供たちが楽しんできた時に、やりがいを感じる。学校の先生でもなくクラスの友達でもない私たち学生が、斜めの立場から関わるからこそ、子供たちがありのままの姿で活動を楽しむことができているのではないかと考える。

○今後の展望・目標

今後も子供たちが楽しく活動できるようなプログラムを考え、活動の幅を広げる。世代交代をしても、私たちが目指してきた一人一人に合わせた支援を引き継ぎ、子供たちが自分らしくいられる場所を提供する。障障継承プログラムでは、子どもが自分の将来を「働く」という視点からも見据えていくことができるようなプログラムを実施する。